

2 健康・福祉

区	地域コミュニティ協議会	活動名
東	中野山小学校区コミュニティ協議会	健康ウォーク事業
中央	栄地区コミュニティ協議会	安全で安心なまちづくり推進事業
中央	上山校区コミュニティ協議会	健康・福祉研修見学会（医療）
中央	上山校区コミュニティ協議会	福祉研修会（地域包括ケアシステム）
秋葉	新関コミュニティ協議会	認知症サポーター養成講座と支え合いしくみづくり
西	コミュニティ中野小屋	親子三代ふれあい会
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	各自治会に於ける高齢者を支える担い手の育成
西	坂井輪中学校区まちづくり協議会	文化と健康づくり事業
西	坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会	地域の茶の間「よりどころ」
西	坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会	地域の茶の間「らっくり」
西	五十嵐小学校区コミュニティ協議会	地域福祉活動と連携した健康ナビガイド・料理の普及啓蒙と推進
西	小針小学校区コミュニティ協議会	「認知症予防と地域の取り組み」講演会

東区 中野山小学校区コミュニティ協議会

活動名：健康ウォーク事業

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

学区全体の交流の場を探ってきた

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

子どもの健康の促進を図り、地域住民同士の交流の場とすることを目標とした。

「課題は健康ウォーク」とし、みんなで励まし合いながら目的地まで歩きとおした。

α米等を活用し、炊出し訓練を兼ねた。目的地でレクリエーションを取り入れ住民の交流の場とした。PTA等構成団体との連携を深めた。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

中野山小学校・石山中学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域の諸団体の交流により、その存在と役割の認識が深まった。

父親のたくましさが随所に見られた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

中学生に役割分担をしてもらうようになってから、小学生も活発になった。

石山地区スポーツ振興会の協賛をえて、PTAと同等に役割分担をもらっている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当行事の参加者は、毎回200名位で定着してきた。構成団体の重要な連携の場でもあるのでレクリエーションの種類等に工夫を加えながら実施していきたい。



リーダーに先導され、みんな仲良く行進です



恒例の集合写真

中央区 栄地区コミュニティ協議会

活動名：安全で安心なまちづくり推進事業

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

ひとり暮らしのお年寄りが多く地域の安心・安全な暮らしを守っていくため福祉、防災、防犯、防火及び環境等多面的な観点からこの事業を実施し地域住民の安心・安全を守ることで、友好的な活動を繰り広げ、その活動をPRして安心・安全の対策に理解を促進するとともにひとり暮らし高齢者世帯の福祉向上を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

お年寄り宅への定期的な見守り活動をコミ協文教部・厚生委員と地域見守りお互いさまくらぶ会員とで実施いたしました。玄関での声掛け及び隣近所に訪問してお年寄りの生活に変わったことはないか、異常があったと感じた場合は連絡をいただけるようお願いをしています。また、毎月1回集まってお年寄りの暮らしぶりを話し合い、情報交換をしました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

お互いさまくらぶ

実 績 ・ 効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

お年寄りから感謝をされて地域のお茶の間サロンや防災訓練にも参加していただくようになりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

特になし

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域のお年寄りの安心・安全を守っていくために、より一層の見守り活動に努めてまいります。

中央区 上山校区コミュニティ協議会

活動名：健康・福祉研修見学会（医療）

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

26年度から進められている「地域包括ケアシステムの構築」の一環として、住民皆が健康な日々を送り、健康寿命を延ばし、福祉の共有が一層深まり、喜びと笑顔の地域でありたい。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

日常多くの住民が関わっている医療について、正しいくすりの知識、正しいくすりの使い方等について学んだ。

※新潟薬科大学 講師 薬学博士 若林広行 教授

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特になし

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

誰しも医療は医療関係者任せであるが、この受講によって「大切な自分の命を守る」ための意識が強くなったと思います。医療は病気を治したり、身体の正常な働きを促すなど、健康生活を保ち、助ける役目があることが理解できた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

大学側からもわれわれの活動を良く理解していただき、色々な面でご配慮がありました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後とも「地域包括ケアシステム」の一環として介護・医療について学び、健康寿命の延伸につなげたいです。また、特定健診受診率アップの啓発活動も推進します。



大豆イソフラボンに新事実！ 「エクオール」をご存じですか？

腸の中では

大豆製品を食べると… 大豆イソフラボンが 腸内細菌によって エクオールに生まれ変わります

パワーアップ!

2016/09/29



中央区 上山校区コミュニティ協議会

活動名：福祉研修会（地域包括ケアシステム）

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

前年度に続き「知って安心—地域包括ケアシステムの構築」を更に一歩前進しての学びで、行政の担当課（中央区健康福祉課）による研修を受けた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

中央区健康福祉課の担当係長による実践に即した内訳の研修と他校区コミ協の実践報告を受けた。
①介護保険制度の改正 ②支え合いのしくみづくり ③ちいきの茶の間

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

鳥屋野地区公民館

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

平成 29 年度より実践スタートするに当たり、事務局、生活支援コーディネーター等の設置で、行政と地域による協働意識が向上された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

特になし

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域の支え合いのしくみづくり活動を持続展開する。「人は皆年を取っても、自分が望むところで心豊かに暮らしたい、そんな願いがある。」



秋葉区 新関コミュニティ協議会

活動名：認知症サポーター養成講座と支え合いしくみづくり

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- 近年、認知症に対応する様々な取り組みがなされている。「助け合う福祉の新関」の一環として認知症に対する理解を深めるとともに、家族や近所のお年寄りをサポートする基礎知識を学ぶ機会として開催した。
- さらに「健康寿命の維持」が叫ばれて久しい昨今、「支え合いしくみづくり」に着手し健康で長生きのできる仕組みや活動の在り方を考える機会とした。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- 地元社会福祉協議会と連携し指導助言を得るとともに、当日の講師にお願いした。
- 講義内容は、寸劇などを織り込んでもらい興味関心がもてるようにした。
- 講座に参加された人には、認知症サポーターの資格となる「オレンジリング」を渡すこととした。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

自治会・老人クラブ・民生委員・社会福祉協議会

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- 認知症に対する理解が得られた。
- 認知症に対するサポートの仕方が理解された。
- 参加者から積極的に質問等がなされ、参加者の関心の高さがうかがわれた。
- 「支え合いしくみづくり」に目を向けるきっかけとなった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- 「認知症サポーター」・「支え合いのしくみづくり」・「健康寿命」などの用語が錯綜する中、課題解決の道筋、手順に苦慮した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- 健康寿命の維持増進に向けた「支え合いしくみづくり」は地域のお茶の間が核とされている。これまでのお茶の間（サロン）の在り方を見直していきたい。
- さらに、これからはなぜ「支え合い」なのかを地域住民から理解してもらう機会を作り、地域のお茶の間と連動した「支え合いのしくみづくり」を推進したい。
- そのためにも民生委員、自治会、老人クラブなどとの連携が一層大切となる。



西区 コミュニティ中野小屋

活動名：親子三代ふれあい会

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域住民の融和と協調を図り、在宅福祉活動を推進し、住民の福祉向上と地域のより良い環境づくりに努めることを目的に平成3年に発足し、敬老会事業の他に独居老人世帯の友愛訪問などを実施している。地区の敬老会は、婦人会主催であったが、この親子三代ふれあい会の発足にあたり、ふれあい会の敬老事業として実施することになり、平成3年度から「敬老会」というイベント名称を「中野小屋地区親子三代ふれあい会」に改称して実施している（敬老会は平成27年で65回、親子三代ふれあい会としては25回）。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

当該年度に満75歳以上になる方を対象者とし、対象者全員に記念品を贈呈し、米寿の方にはお祝い品（座布団）と元中野小屋郵便局長からの色紙を贈呈している。また100歳になられた方には、お祝い金を贈呈している（本年は該当者なし）。

参加者は敬老対象者のほか、保育園・小中学校、福祉施設等を含む出演者、その他地区住民など600人規模のイベントになる。そこで、6月から自治連・コミ協で合同会議を始め出演依頼や記念品選定、企画運営の準備・PRを周到に行っている。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

実行委員会である親子三代ふれあい会を組織するとともに、自治連絡協議会、老人クラブ協議会、民生児童委員協議会、防火連合会、JA女性部、西区社会福祉協議会、西地区公民館で組織されている。実行委員会会長にはコミ協会長、副会長に自治連・老人クラブ・民生委員の長が就いている。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

孫や子供の遊戯や演奏は、お年寄りに特に好評である。また、新潟県ミニコロニー構想に基づく最初の施設として設立されたみずほ園・第2みずほ園・みのり園や新潟あそか苑職員の劇や踊りは、常に喝采を得ている。後半のアトラクションでは、お年寄りが自ら出演したり、地区の様々な芸能団体の発表の場となったりしている。水利を巡る過去の対立や地域性の違いを克服し、地域の一体感醸成にも効果的である。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加しようという気持ちを持っていただくための記念品の選定、幅広い年代層の出演者の確保や発掘、役員や自治会長の負担軽減 等

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

当地区では、このほか地区の文化祭として毎年瑞穂祭を開催している。中学校・小学校・JA・コミ協・自治連で開催。29年は第12回瑞穂祭を10月22日中学校とJA中野小屋支店を会場で開催。地区運動会が廃止になり、地区住民が集える行事として始まった。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：各自治会に於ける高齢者を支える担い手の育成

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成29年4月から導入される「地域包括ケアシステム」構築に向け、高齢者に対する支え合う体制作りが急務である。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

各自治会に於ける人材養成としてのリーダー育成研修会を2回行った。
リーダー育成講座を2回実施すると共に、意見の交換会を合わせて行った。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟医療福祉大学・大学院准教授 青木 茂 坂井輪診療所施設長 安達哲夫

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

高齢者を支える担い手育成研修会で中核となる地域の茶の間開設に向け取り組んだ結果、2自治会が新たに立ち上げた。また、弱体化していた自治会も息を吹き返すなど、地域包括支援システムに関して理解も深まり関心がたまっている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

昨年に続いての開催で高齢者に対する各自治会でのニーズも高まっているものの、寄り添い集う施設(場所)又、サポートする人材の確保。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域包括ケアシステムに対して、地域内の関心も高まっていることから、各自治会と協力を図り、地域対応について継続して支援する。



西区 坂井輪中学校区まちづくり協議会

活動名：文化と健康づくり事業

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

文化活動：JR 越後線「寺尾地下道」の開設に伴い、地下道の環境維持及び地域交流を図るため園児・小中学生の絵画を展示する活動。健康づくり活動：高齢化社会を迎え予防医学の大切さが注目されているため、地域住民で健康維持への関心を高める。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

1. 関係者に依頼、絵画収集・地下道展示取り換え活動（2ヶ月毎）の活動。
2. 体力測定、筋力アップ運動を指導した。また、脳トレ運動とリズム体操を行った。
3. チラシ配布、広報紙に掲載した。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

ダッシュスイミングスクール新潟、西区健康福祉課

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

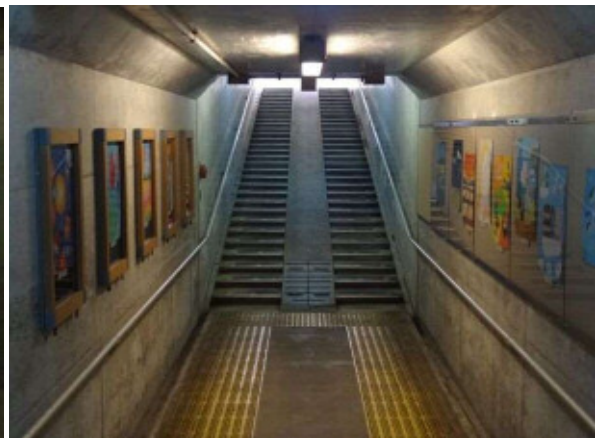
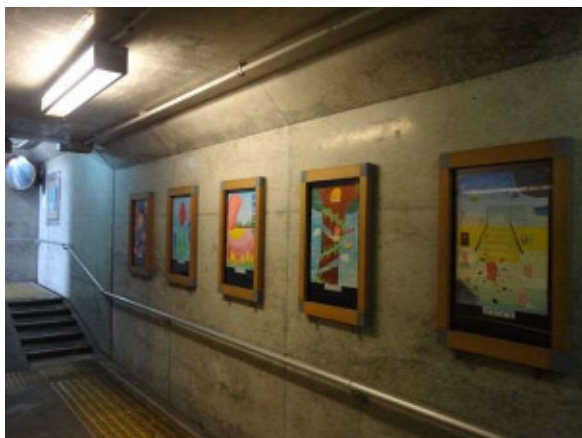
- ・地下道を利用される地域住民から子ども達の成長や地域活動など好評を頂いている。
- ・公共施設の環境整備として子ども達の絵画展示により環境が守られていると思われる。
- ・参加者の運動機能が変り、笑顔・動き・交流等心身とも良好になってきている。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

1. 絵画展示板の改修。
2. 参加者の年齢差による運動方法の振り分け指導。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・絵画展示は、地域住民・提供者との地域活動を含め次年度も継続する。
- ・健康づくり教室は、参加数も多くなってきており、また、参加者から開催の希望もあり、男性参加も呼びかけ、日常における健康づくりを進めたい。



西区 坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

活動名：地域の茶の間「よりどころ」

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

- ・認知症・閉じこもりの予防

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- ・人と人とのつながりを頼りに教えてくれるかた（講師）を探すこと。
- ・地域の茶の間「らっくり」に比べ、何か身に付けたい人を対象に教室（講座）開催（折り紙・ハーモニカ教室等）を主体とし、まだその時々話題をお茶・お茶菓子等たべながら話し合う。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

- ・自分自身で教室を開いている方

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・教室（講座）に伺う姿勢が一生懸命でなにか身につけ意欲が感じられる。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・講師を探すこと。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

- ・継続すること。

西区 坂井輪小・小新中学校区まちづくり協議会

活動名：地域の茶の間「らっくり」

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

高齢者の認知症・閉じこもりの予防

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

参加者を集めるため何をするか、包括支援センターとも相談しながら、いくつかのプログラムを作成し、全自治会にそのチラシを回覧した。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

調剤薬局の全快堂、運動推進委員

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

- ・最初は、参加者も少なく皆さん堅い表情でしたが、回を重ねるごとに会場は笑い声が多く聞かれるようになった。
- ・体操すると会場が狭くなるほど、参加者も多くなった。
- ・チラシは、毎月全自治会に回覧

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

- ・高齢者の関心が高いものの適宜、自分自身の健康状態を知ることだった。したがって、血管年齢、記憶力、肌年齢などの簡単検査が好評である。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

何事も継続していくことが大切なことだと思う。



西区 五十嵐小学校区コミュニティ協議会

活動名：地域福祉活動と連携した健康ナビガイド・料理の普及啓蒙と推進

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域福祉活動の一環として、「ささえあいプラン」の原点である健康でいつまでも元気で生活(健康寿命の増進が図れる)ができるコミ協の支援・活動は何かを考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

1. コミ協役員及び福祉部会員が率先体験し意義の大切さを共有した。
2. 理事会・部会・機関紙を通じ多くの方々に参加していただけるよう周知した。
3. 参加者の交流を通じ、地域間の連帯意識の高揚が図られた。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市食生活改善推進委員協議会西支部

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

参加者の普及活動により早速行事を実施した自治会がありました。また次年度の自治会行事に組み入れたいとの報告もありました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・参加者の募集に当たり、定数が集まるか心配でした。
- ・高齢者を中心に、年々健康管理に対する意識が高まっていますが、如何に動機付けと実践をしていただくか、課題が残りました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今回の各行事は、いずれも第一回目でありコミ協役員関係者が中心となりますが、次年度も参加者のニーズを取り入れ、継続開催できるよう努力したい。

健康ナビガイド 健康体操

開催日 平成28年11月30日

五十嵐コミュニティハウス 2階ホール 参加27名



おはよう朝ごはん料理講習会

開催日 平成28年7月25日

坂井輪公民館 調理実習室 参加30名



西区 小針小学校区コミュニティ協議会

活動名：「認知症予防と地域の取り組み」講演会

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域包括ケアシステムの構築と新潟市の総合事業の取り組みについて

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

介護保険法改正に伴う地域住民に対する周知と支援体制の確立を図る。講演会開催を行った。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟医療センター脳神経センター 西澤センター長

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

地域包括ケアシステムの理解と総合事業の取り組み（地域の見守り、支え合いなど）体制の必要性をある程度理解された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

参加人数の把握と講師手配に苦労した。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

定期的に地域住民に対する支え合い仕組みづくりの周知を図り、総合事業を推進する。

